

望まない施設入所や
同居はやめて、
親子ともども
後悔のない最期を。

- 誰だって住み慣れた家で暮らしたい
- 医師不足、困難な施設入居...これからは在宅医療&在宅看取りがスタンダード
- 通院が難しくなったときの救世主「在宅医療支援」
- 理想の在宅医療のかたち
- ITを活用し、本人、医師、家族がリモートで情報共有
- 親が終末期を迎える前に決めておくこと、やっておくこと
- 自宅で終末期を迎えるには
- 終末期は混迷する
- 本人も家族も後悔のない終末期
- 無意味な投薬治療をしたくない
- リビングウィルノートとは？
- その人の人生観を大切にしたい最期を

著者

松本祐二（島根県益田市・松本医院院長）

1979年昭和大学医学部を卒業、同大学に勤務。1982年父の死亡を機に江戸時代から続く松本医院を継承(8代目)。内科、小児科、アレルギー科を標榜して地域医療に取り組む傍ら学校保健を通じての性教育、産業保健(生活習慣病対策)や老人ホームの診療(終末期医療)などにも携わり、島根県性教育連絡協議会会長、NPO法人島根糖尿病療養支援機構の初代理事長、国際ロータリー第2690地区ガバナー(2014-15年度)などを歴任。公益社団法人益田市医師会前会長、社団法人島根県医師会常任理事、公益財団法人日本尊厳死協会中国地方理事、国際ロータリーポリオ根絶コーディネーター、島根大学医学部臨床教授。

日東書院本社
四六判160ページ オール2色

「親を 住みなれた家で 看取ってあげたい と思ったら読む本」

医師が伝えたい介護と医療を上手に使いながら、
自然のままに親を看取る方法



イラスト：林ユミ

(株)日東書院本社 TEL:03-5931-5913 (出版コンテンツ営業本部) FAX:03-6386-3087

キリトリ線

日東書院本社 書籍	書店番線印 ご担当	追加補充注文	親を「住みなれた家で看取ってあげたい」 と思ったら読む本 ◎著 松本祐二 四六判／定価 1760 円 (本体 1600 円＋税 10%) ISBN978-4-528-02522-6 C0036 好評発売中	冊
--------------	------------------------------	--------	---	---